

1月給食だより



令和5年 1月
富山市立奥田北小学校



あけましておめでとうございます。新しい年を迎えて、子供たちの心の中にも新たな願いや目標が生まれたことでしょう。食生活の面から今年もサポートしていきます。

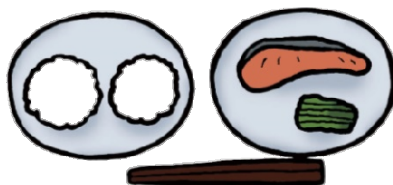


学校給食の歴史

日本の学校給食は明治22(1889)年、山形県鶴岡市で始まりました。戦争による中断を経て、昭和22(1947)年1月から都市部の小学校を中心に再開。昭和29(1954)年には学校給食法が制定され、学校教育の一環として位置付けられています。そして、今日まで日本の子供たちの健やかな成長を支えています。

明治22(1889)年

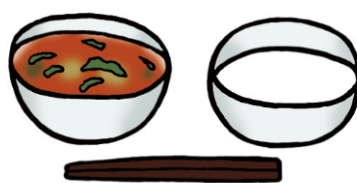
山形県鶴岡町(現・鶴岡市)私立忠愛小学校で日本初の学校給食が行われました。その後、全国各地で給食が実施されていましたが、太平洋戦争が始まると物資不足等から中断に追い込まれてしまいました。



おにぎり、塩さけ、菜の漬物

昭和21(1946)年12月24日

米の援助団体ララからの支援物資により、学校給食が再開。この日を「学校給食感謝の日」と決めました。その後、ユニセフなどからも脱脂粉乳などの寄贈を受けました。



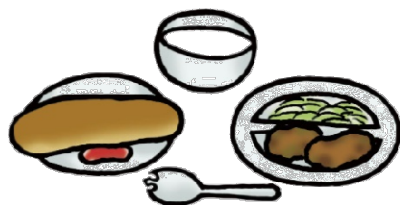
トマトシチュー、ミルク(脱脂粉乳)

昭和25(1950)年

ララやユニセフなどに感謝し、学校給食が戦後再出発した意義を考え、冬休みと重ならない1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」としました。

昭和29(1954)年

学校給食法が制定されました。学校給食を教育活動の1つに位置付けました。



コッペパン、ミルク(脱脂粉乳)、くじら肉の竜田揚げ、せんキャベツ、ジャム

平成17(2005)年

食育基本法が制定されました。食は知育・徳育・体育の基礎となり、生きる力を育むもので、食を社会全体の問題として扱うことをうたっています。学校給食も食育推進の中心的な役割を担っています。

今の給食と比べてみて、
どうでしょうか。



全国学校給食週間・特別献立

1月23日(月)～1月27日(金)

「本の世界を味わおう～読んで楽しい、食べておいしいお話～」

今年度は、昨年度に引き続き、本に登場する料理や食材を取り入れ、その本にちなんだ献立を実施します。

みなさんが知っている本はありますか？知っている本に出てくる料理はどんな味がするのでしょうか。また、読んだことのない本では、給食に出てくる料理が、物語の中でどんなふうに出場するか思い描くと楽しみになりますね。給食を通して、本の世界を味わってみましょう。